

未来を支える粒子になる。



PRONEXUS × ラジオNIKKEI 共催  
「企業IR&個人投資家応援イベント」

個人投資家様向け 会社のご紹介

モビリティ・AI・環境への貢献

戸田工業株式会社

東証スタンダード 証券コード:4100

2026年10月3日

代表取締役 社長執行役員 久保 恒晃



微粒子の可能性を、世界の可能性に変えていく。



- Ⅰ 戸田工業って「どんな会社」なの？
- Ⅰ 戸田工業って「何がすごい」の？
- Ⅰ 戸田工業の「これから」は？



代表取締役 社長執行役員

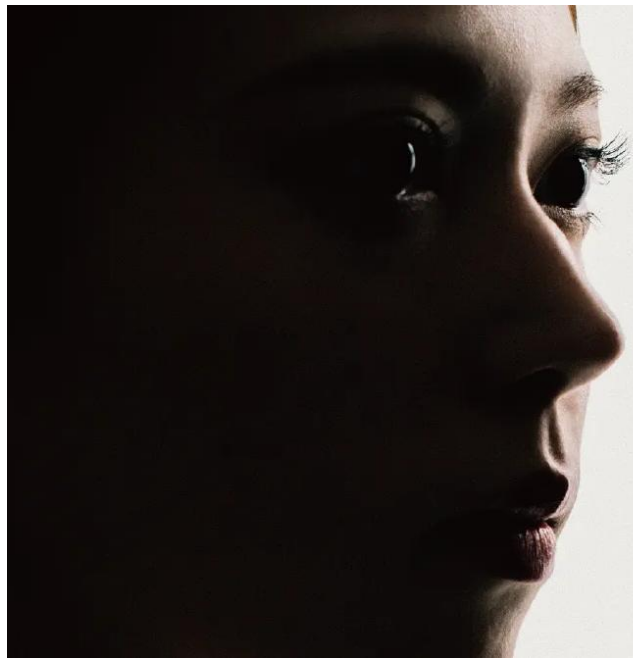
くぼ つねあき  
久保 恒晃

Ⅰ 戸田工業って「どんな会社」なの？

Ⅱ 戸田工業って「何がすごい」の？

Ⅲ 戸田工業の「これから」は？





微粒子の可能性を、世界の可能性に変えていく。

私たち戸田工業グループが向き合っているのは、  
素材としての粒子であり、社会であり、人です。

微粒子と人の可能性を信じ、  
これからも世界を支える新しい可能性を作り続けていきます。

## 戸田工業とは？

■ 私たちは、**酸化鉄(ベンガラ)**を中心に発展してきた江戸時代から続く化学素材メーカーです

|        |                       |
|--------|-----------------------|
| 業種     | 無機化学品製造               |
| 国内外子会社 | 15社 (日本 中国 韓国 タイ ドイツ) |
| 連結売上高  | 280億円                 |
| 従業員数   | 連結1,037人 個別 357人      |

### ゆるぎない技術の証明



創業

**203**年目



開発従事者  
個別

**約3分の1**



特許保有数

**446 件**

(注)2025年度(2026年3月期)

## 戸田工業の祖業である**酸化鉄**とは？

酸化鉄は鉄と酸素が結合した化合物の総称で、身近な「さび」の主成分です。赤、黄、黒色の粉末として顔料や化粧品、磁石の原料、さらには医療・バイオ分野など幅広い用途に利用されています。化学的に変質しにくいことや人体に無害であることなどが特長です。特に着色用途で使われる赤色の酸化鉄をベンガラと言います。



## 首里城の復興にも貢献！



画像提供：一般財団法人 沖縄美ら島財団

2019年の火災で焼失した首里城正殿の再建に  
当社のベンガラが使用されています。

# 酸化鉄とは？

■ 酸化鉄は3つの機能で社会の進化を支え、様々な分野で活用の可能性を広げています

## 【色】 着色



アスファルト着色



船底塗料

## 【磁性】 磁石、磁心

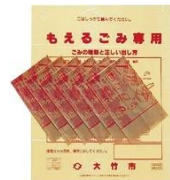


車載モータ用磁石



電子部品用磁性材料

## 【触媒活性】 触媒



省エネ燃焼触媒



石油化学製品の  
合成用触媒

# 200年の軌跡

※LIB:リチウムイオンバッテリー

戸田工業は、化学素材の新たな可能性を切り開き、時代の要請に応えた製品を作り続けています

1823年  
創業

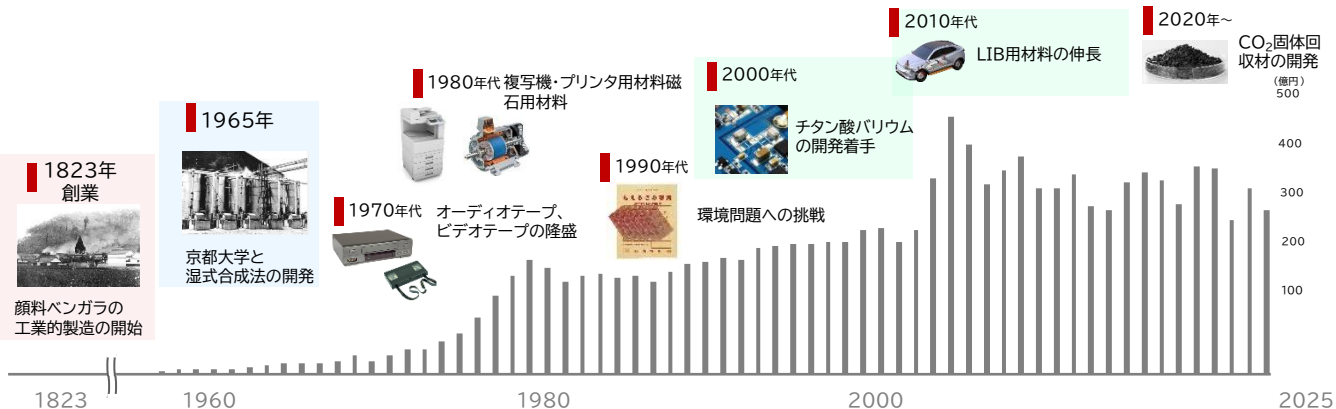
- ・着色顔料「ベンガラ」を工業的製造
- ・乾式合成法を用いた生産
- ・陶器・建築材などの色付けに供給

1960年代～  
革新的な生産方法の確立

- ・京都大学と独自の微粒子合成術を確立
- ・顔料メーカーから電子素材メーカーへ  
着色顔料から磁気記録材料へ事業領域を拡大

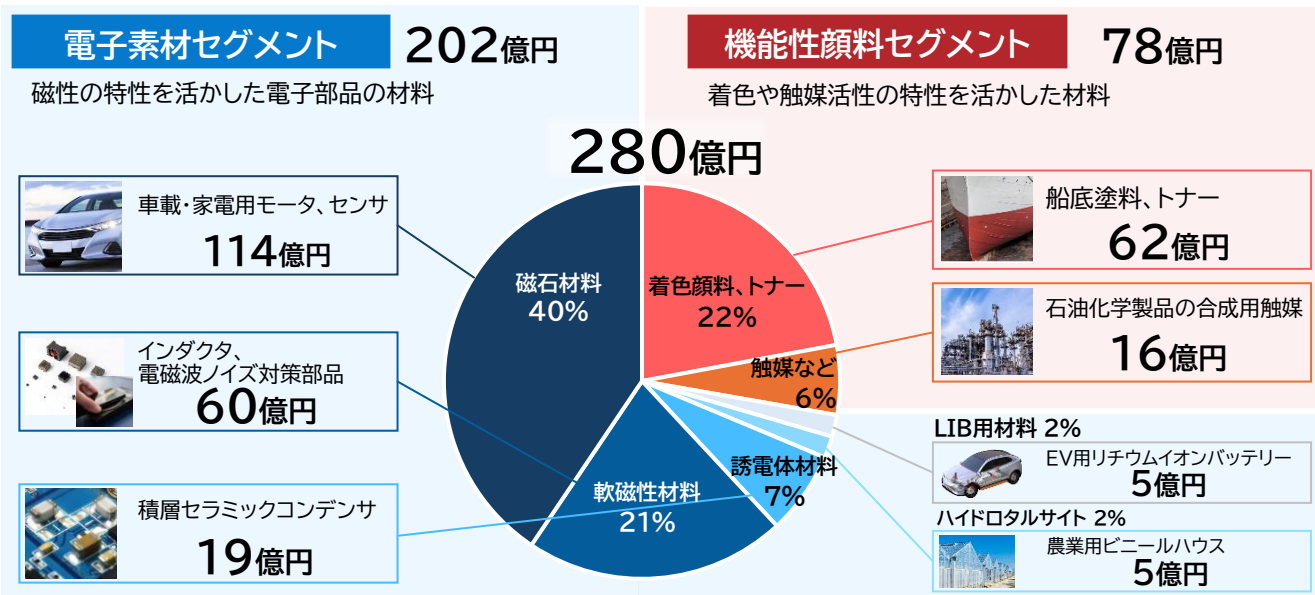
2000年代～  
酸化鉄以外の素材への展開

- ・酸化鉄以外の無機材料へ微粒子合成技術に応用し、  
新素材の開発着手
- ・電子部品用チタン酸バリウム、LIB※用材料を事業化



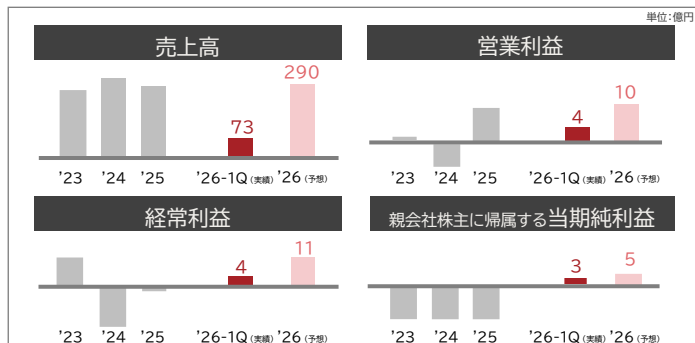
## 用途・材料別 連結売上高の構成比(2025年度)

創業以来培った顔料事業を基盤に、現在は電子素材が主力事業へと成長しています



## 4か年 連結業績推移(実績・2026年度予想)、株価推移(2023年4月～2026年9月)

■ 不採算事業から撤退、体質強化策の実行により、2026年度以降、全ての利益段階で黒字化を見込んでいます



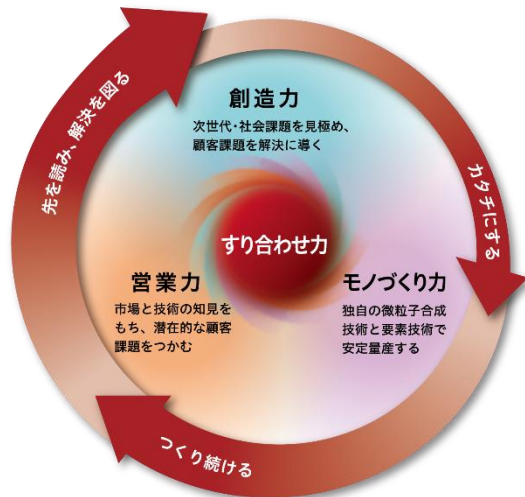
| 年度         | 2023年度(実績) | 2024年度(実績) | 2025年度(実績) | 2026年度(予想) | 2026年度1Q(実績) |
|------------|------------|------------|------------|------------|--------------|
| 営業利益率 (%)  | 0.4        | ▲2.0       | 3.1        | 3.4        | 5.1          |
| ROE (%)    | ▲ 24       | ▲ 29       | ▲ 35       | 6          | 3            |
| 自己資本比率 (%) | 26         | 22         | 19         | 20         | 22           |
| PBR (倍)    | 0.88       | 0.59       | 0.85       | —          | 0.85         |
| 期末株価 (円)   | 2,119      | 1,129      | 1,332      | —          | 1,677        |
| 年間配当金 (円)  | 0          | 0          | 0          | 0          | —            |

【配当について】当社は、安定的な配当を継続することを最も重視しております。一方で、経営成績・内部留保の充実等も併せて勘案し、総合的に判断して決定することを基本方針としております。財務状況の改善に取り組んでおりますが継続的に安定配当を実施するための基盤構築が完了していないことから、配当を見送っており、復配できる体制を整え、安定的に利益還元を行えるよう取り組んでまいります。

Ⅰ 戸田工業って「どんな会社」なの？

Ⅱ 戸田工業って「何がすごい」の？

Ⅲ 戸田工業の「これから」は？



## グローバルな競争優位性を持つ3つのコアコンピタンス

3つの強みを循環させ、社会課題の解決と持続的な成長を実現します



酸化鉄をベースにした

### 1. 無機材料への豊かな経験と知識



### 2. 湿式合成から始まるナノテクノロジー

独自の技術で多様な素材を創出

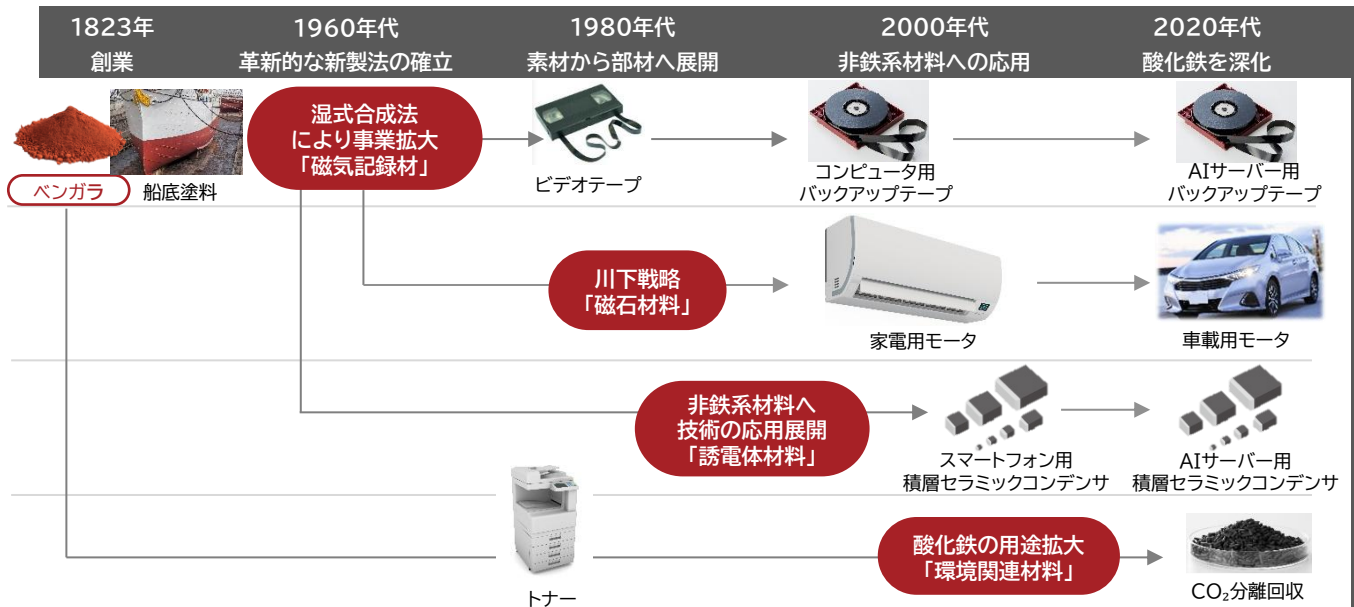


### 3. 素材からソリューションまでの提供

素材の視点から顧客企業の課題解決を支援

# 1. 無機材料への豊かな経験と知識

時代の変化を捉え、新たな技術開発や用途開拓の積み重ねが、私たちの競争力の源泉です

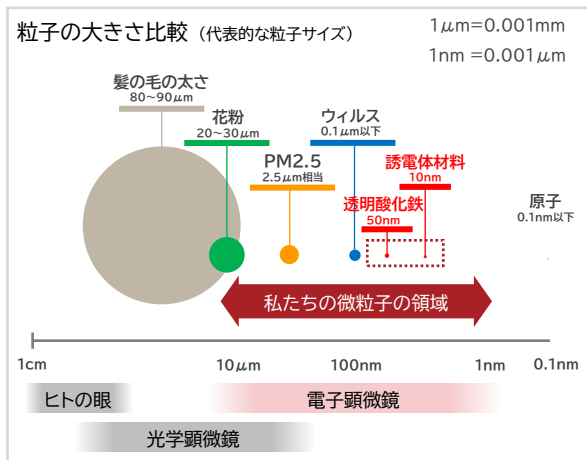


## 2. 湿式合成法から始まるナノテクノロジー ～200年で培った微粒子合成技術～

■ 目では見えない小さな粒子の形や大きさ等をコントロールし、求められる素材を提供します

### ■ 私たちの微粒子開発領域

- ・私たちの微粒子サイズ＝電子顕微鏡でしか見えない世界
- ・数ナノメートルから数十マイクロメートル



### ■ 私たちの微粒子設計

- ・粒子の形や大きさ等を制御し、用途に適した粒子を作り分ける技術
- ・開発コンセプト「TSSDS CONTROL」による新素材を開発

#### TSSDS CONTROL



## 2. 湿式合成法から始まるナノテクノロジー ～微粒子合成技術は何がすごい？～

### ■ 半導体関連部品「積層セラミックコンデンサ(MLCC)」を例に挙げると・・・

積層セラミックコンデンサ(MLCC)とは？

#### 【役割】

電気を一時的に蓄えたり、電磁ノイズを除去したりするための電子部品

#### 【用途】

AIサーバー、スマートフォン、パソコン など

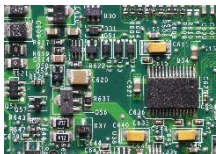
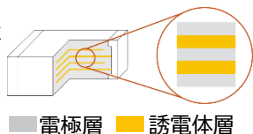
#### 【構造】

誘電体層と電極層が積層し、電気を蓄えられる構造になっている

スマートフォンに搭載されるMLCCだと

サイズ : 0.6mm×0.3mm

積層数 : 数百層～1000層



市場動向

AIサーバー市場はCAGR20～30%台※の成長見込み

- ・MLCCを小型化し搭載される部品点数が増加
- ・小型化と多層化の両立

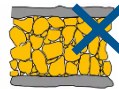
戸田工業に  
求められること

- ・電子部品の小型化に伴う、粒子の微粒化
- ・電子部品の高性能化に貢献する微粒子  
(形・大きさがそろった高機能微粒子)

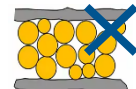
NG例

MLCCの信頼性が低下

形のばらつき



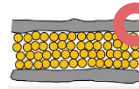
大きさのばらつき



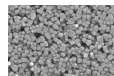
構造イメージ

戸田工業の微粒子合成技術

粒子の形・大きさのそろった高機能微粒子



構造イメージ



粒子画像

MLCCの薄層化、多層化に貢献し、半導体の性能を最大限に引き出すことができます！

※ 出所: Global Market Insights, Grand View Research, MarketsandMarketsの公表資料を基に当社作成

### 3. 素材からソリューションまでの提供: すり合わせ力

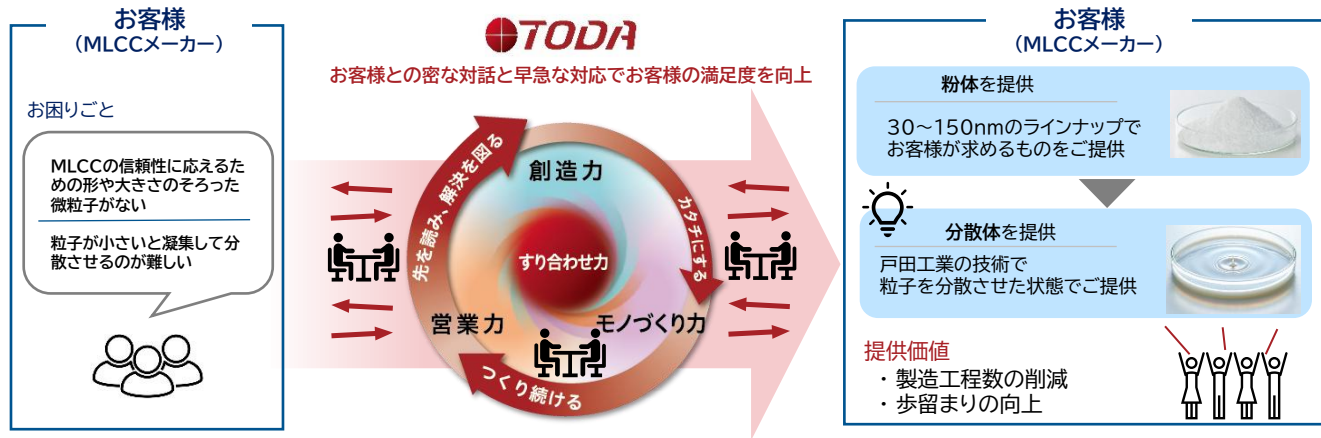
戸田工業はすり合わせ力で社会にゲームチェンジをもたらす素材の創出します

すり合わせ力とは

お客様との対話を起点に、技術・製造・営業を結び付け、社会や市場が求める価値を共創する戸田工業独自の競争力

すり合わせ力の発揮

(例) MLCC用誘電体材料での取り組み

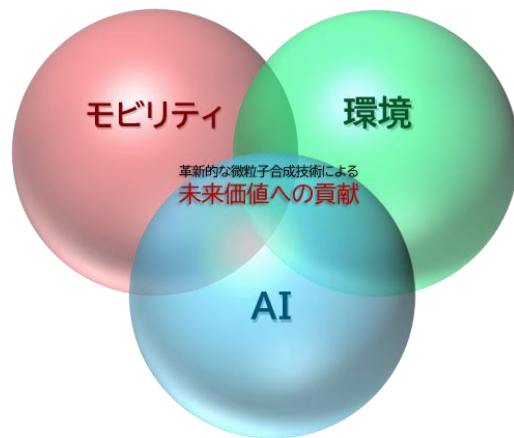


Ⅰ 戸田工業って「どんな会社」なの？

Ⅱ 戸田工業って「何がすごい」の？

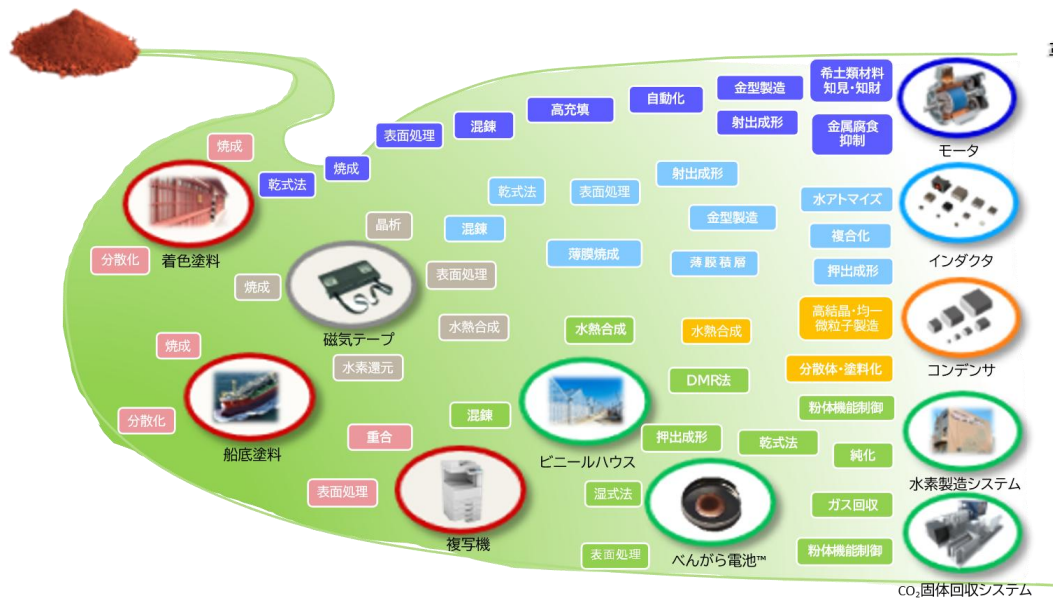
Ⅲ 戸田工業の「これから」は？

～グローバル・ニッチ・トップの追求～



## ベンガラロード(技術のすり合わせの歴史)

■ 酸化鉄で培った材料技術を進化させながら、その時代の成長フィールドへ価値を提供し続けています



革新的な微粒子合成技術による  
未来価値への貢献

モビリティ

AI

環境

## 私たちが貢献する成長フィールド

■ 革新的な微粒子合成技術を活かし、3つのフィールドで新たな価値を創出します

### モビリティ



モータ

センサ

軽量化、耐食性、耐熱性に優れる  
ボンド磁石を追求

### AI



電子部品  
インダクタ

電磁波ノイズ対策

電子部品  
コンデンサ

AR・VR

インダクタやMLCCの  
小型化、高容量、信頼性向上に貢献する  
微粒子材料の実現

### 環境



CO<sub>2</sub>固体回収材

CO<sub>2</sub>フリー水素

循環型システム

酸化鉄で培った技術を応用し、  
環境負荷低減に貢献する新素材の開発

# 中期経営計画「Vision2026」の位置づけ、戦略

## 位置づけ

- ・2030年度のありたい姿からのバックキャスト
- ・2024～2026年度の3か年計画

Mission “事業ポートフォリオマネジメントの強化”

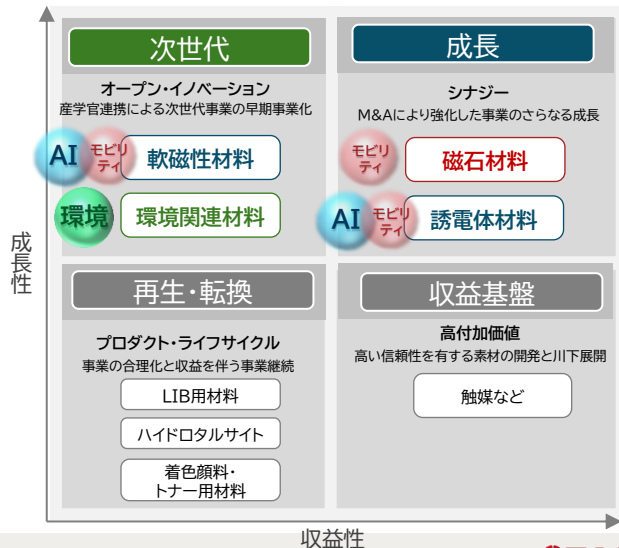


| 最終年度                                 | 2026年度 計画<br>(2024年6月公表)        | 2030年度 目標                         |
|--------------------------------------|---------------------------------|-----------------------------------|
| 営業利益率                                | 5%                              | 8%以上                              |
| ROE                                  | 11%                             | 10%以上                             |
| 自己資本比率                               | 29%                             | 40%以上                             |
| CO <sub>2</sub> 排出量<br>(画内・Scope1+2) | 26,500t<br>2013年度対比※<br>70%削減相当 | 22,000t以下<br>2013年度対比※<br>75%削減相当 |

※ 2013年度CO<sub>2</sub>排出量:約89,000t

## 事業ポートフォリオマネジメントの位置づけと進捗

- ・「再生・転換」事業の再構築が進展し、収益力回復
- ・「成長」、「次世代」事業の拡大に向け、経営資源を投下



# 未来を創る成長ストーリー ～グローバル・ニッチ・トップの追求～

## 成長事業

### 磁石材料

EV化の進展による  
高性能モータ需要  
拡大

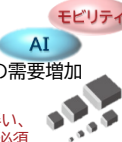
冷却ポンプモータ向け  
磁石材料の需要が拡大



### 誘電体材料

AIや高速通信の  
進展による  
電子部品(MLCC)の需要増加

電子機器の  
小型化・高性能化に伴い、  
MLCCの信頼性確保必須

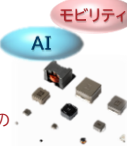


## 次世代事業

### 軟磁性材料

生成AIの普及に伴う  
データセンター  
投資拡大

AIサーバー向け  
電源部品(インダクタ)の  
需要が増加



### 環境関連材料

世界的な  
脱炭素化の進展

CO<sub>2</sub>排出量削減へのニーズが高まり、  
CO<sub>2</sub>回収・水素関連市場が拡大



市場機会  
(なぜ伸びるのか)

優位性  
強み  
(なぜ勝てるのか)

提供価値  
(何を提供するか)

成長  
ドライバー  
(どう成長するのか)

ボンド磁石用コンパウンド材料  
トップシェア ※当社調べ

1. フェライト～希土類(レアアース)
2. ノンチャイナ化など原料調達の見直し

モータの小型化・高効率化を実現し、  
EVの電費向上や  
航続距離向上に  
貢献

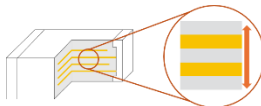


小型ポンプ用磁石

MLCC向け共材チタン酸バリウム  
シェアNo.1 ※当社調べ

1. 微粒子開発・製造
2. 水熱合成法を活かした分散体の提供

MLCCの薄層化、多層化を実現し、  
電子機器の小型化・高性能化に貢献

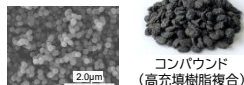


分散体

粒子設計と複合化を融合した  
材料開発力

1. 高性能メタル磁性粉の独自製造技術
2. 表面処理・樹脂複合化技術

高性能インダクタを実現し、  
AIサーバーや車載電子機器の  
高性能化に貢献



コンパウンド  
(高充填樹脂複合)

酸化鉄技術を核とした  
環境貢献技術力

1. 200年以上培った酸化鉄技術
2. 低コストCO<sub>2</sub>回収材技術

CO<sub>2</sub>回収コストの  
低減とクリーン水素  
の製造を実現し、  
持続可能な社会の  
実現に貢献



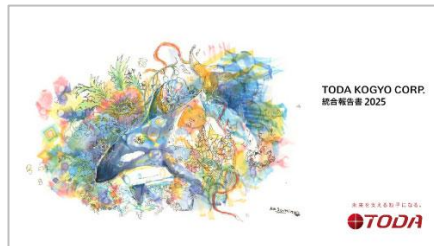
CCUS(CO<sub>2</sub>回収・利用・貯留)

- ・CO<sub>2</sub>回収材の社会実装
- ・クリーン水素サプライチェーン構築
- ・2030年度売上高10億円目標

## 戸田工業をさらに詳しく知りたい方へ

### ■ 「統合報告書2025」、「ESG BOOK2025」 (2025年10月30日公表)

※「統合報告書2026」、「ESG BOOK2026」は、2026年10月公開予定です。



統合報告書2025

### ■ 2025年度(2026年3月期)決算事業報告会



### ■ 中期経営計画「Vision2026」



ショートムービー  
「戸田工業200th 事業紹介動画」

### ■ ショートムービー「戸田工業200th 事業紹介動画」



私たちは、技術のすり合わせによって新たな価値を創出し、  
社会課題の解決に貢献する企業として、未来への挑戦を続けてまいります。

私たちは、結びつき、力を合わせ、  
未来への希望となる新しい価値の創造に挑みつづける。  
微粒子と、人の可能性を信じて。

未来を支える粒子になる。

# Appendix

---

## 磁石材料

軽量化、耐食性、耐熱性に優れるボンド磁石を追求

市場機会  
(なぜ伸びるのか)

EV化の進展により高性能モータ需要が拡大

電池やモータの発熱を制御する熱マネジメントに対し  
冷却ポンプモータ向け磁石材料の需要が拡大

【課題】焼結磁石における、  
モータの複雑形状・小型化への限界



車載向け冷却用モータ

モビリティ

優位性  
強み

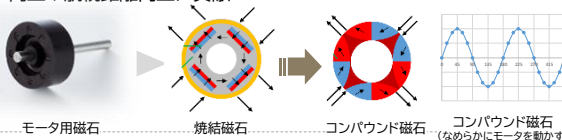
(なぜ勝てるのか)

冷却ポンプモータ向けボンド磁石用コンパウンド材料 **シェアNo.1** ※当社調べ

1. フェライトから希土類まで対応可能な材料技術
2. 地政学的リスクの回避するため生産拠点や原料ソースを複数構築

焼結磁石では難しいモータの小型化・高効率化を実現し、EVの電費  
向上や航続距離向上に貢献

提供価値  
(何を提供するか)



モータ用磁石

焼結磁石

コンパウンド磁石

コンパウンド磁石  
(なめらかにモータを動かす)

成長  
ドライバー  
(どう成長するのか)

- ・部品の小型化・軽量化に貢献する高性能磁石の開発
  - 希土類コンパウンドにおいて既存品対比7% の磁力アップをラ  
ボ機レベルで達成 (目標:27年度までに30%アップ)
- ・製造ライン追加により、生産能力を増強(700→900t/年)

## 誘電体材料

MLCCの小型化、高容量、信頼性向上に貢献する微粒子誘電体材料の実現

AIや高速通信の進展によりMLCCの需要が増加

電子機器の小型化・高性能化に伴い、  
MLCCの信頼性確保が必須

【課題】微粒子化が進み、容量と信頼性の両立



MLCC

モビリティ

MLCC電極層向け共材チタン酸バリウム **シェアNo.1** ※当社調べ

1. 微粒子に特化した開発・製造
2. 水熱合成法を活かした分散体の提供。お客様の工数削減、品質不良の低減に貢献

MLCCの薄層化、多層化を実現し、電子機器の小型化・高性能化に貢献



MLCC

微粒子チタン酸バリウム

- ・AIサーバー向けMLCCの需要拡大
- ・分散体事業の拡大
- ・生産体制の強化による生産能力向上
  - 分散体工程 2025年度稼働開始(大竹事業所)

## 軟磁性材料

インダクタの高性能化に貢献する素材の提供

市場機会  
(なぜ伸びるのか)

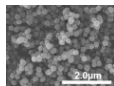
生成AIの普及に伴うデータセンター投資拡大  
サーバー向け電源部品(インダクタ)の需要が増加  
【課題】省エネと高性能化の両立



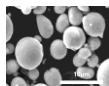
インダクタ

優位性  
強み  
(なぜ勝てるのか)

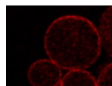
・高性能なメタル磁性粉を製造する独自技術  
・磁性粉～コンパウンドの一貫提供できる開発・生産体制  
・高度な表面処理技術と樹脂複合技術



① 超微粒子



② 中～大粒子



③ 表面処理



④ コンパウンド  
(高充填樹脂複合)



提供価値  
(何を提供するか)

インダクタの信頼性向上・小型化・高容量化を実現し、  
AIサーバーや車載電子機器の高性能化に貢献

成長  
ドライバー  
(どう成長するのか)

・AIサーバ市場拡大による低損失メタル材料需要の増加  
・車載電子機器の高性能化に伴うノイズ対策材料需要の増加  
・TDMIとの連携によるグローバル展開の強化

## 環境関連材料

酸化鉄で培った技術を応用し、環境負荷低減に貢献する新素材の開発

世界的な脱炭素化の進展

CO<sub>2</sub>排出量削減へのニーズが高まり、CO<sub>2</sub>回収・  
水素関連市場が拡大

【課題】CO<sub>2</sub>回収・再利用コストの高さ



CCUS(CO<sub>2</sub>回収・利用・貯留)

・200年以上培った酸化鉄技術と  
製造ノウハウ  
・安価なナトリウムと鉄を活用した  
低コストCO<sub>2</sub>回収材の技術  
・酸化鉄触媒を用いた  
独自のCO<sub>2</sub>フリー水素製造技術



CO<sub>2</sub>フリー水素製造プラント

CO<sub>2</sub>回収コストの低減とクリーン水素の製造を実現し、  
持続可能な社会の実現に貢献

・CO<sub>2</sub>回収材の社会実装(2027年度販売開始を目指し設備設計中)  
・北海道豊富町で実証プラントを建設し、水素サプライチェーンを構築  
・2030年度売上高10億円を目指し事業化を推進

# 事業ポートフォリオマネジメントの進捗 材料別の業績実績・予想

単位:億円

| 位置づけ  | 材料        | 連結売上高         |               |               | 営業利益          |               |               |
|-------|-----------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
|       |           | '24年度<br>(実績) | '25年度<br>(実績) | '26年度<br>(予想) | '24年度<br>(実績) | '25年度<br>(実績) | '26年度<br>(予想) |
|       | 全事業       | 317           | 280           | 290           | ▲ 6           | 9             | 10            |
| 成長    | 磁石材料      | 121           | 114           | 116           | 11            | 13            | 13            |
|       | 誘電体材料     | 15            | 19            | 21            | 0             | ▲ 0           | 0             |
| 次世代   | 軟磁性材料     | 66            | 60            | 64            | 0             | ▲ 7           | ▲ 2           |
| 収益基盤  | 触媒        | 15            | 16            | 18            | 1             | 2             | 3             |
| 再生・転換 | LIB用前駆体   | 24            | 5             | 2             | ▲ 13          | 1             | 0             |
|       | ハイドロタルサイト | 9             | 5             | 5             | ▲ 2           | ▲ 2           | ▲ 1           |
|       | 着色顔料・トナー  | 66            | 62            | 64            | ▲ 4           | 1             | ▲ 2           |



本資料に関する  
お問い合わせ先

戸田工業株式会社 経営企画室 広報グループ

E-mail : [tkc-pr@ml.todakogyo.co.jp](mailto:tkc-pr@ml.todakogyo.co.jp)

本資料のうち、業績見通し等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基き算定しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等が見通しの数値と大きく異なる結果となることを、ご承知おきください。

また事業セグメントを構成する材料別の売上高は任意で公表しているものであり、監査を受けておりませんので参考値とご承知おきください。